

○ 暑さに強いスプレーギク*が開発されました

菊は、古くから日本人に親しまれてきた花です。9月9日は「重陽の節句」といわれ、七夕の節句などとともに、五節句の一つとして、菊の花を用いて不老長寿を願う行事が行われてきました。

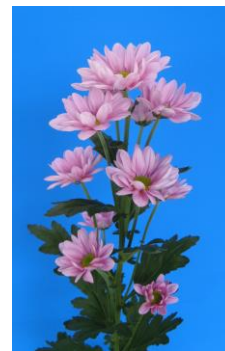
愛知県は、全国一を誇る菊の大産地で、菊の全国出荷量の約1/3を占めています。しかし、近年では地球温暖化の影響等による夏の暑さにより、開花の遅れや生理障害が問題となり、生産者から、厳しい暑さの中でも安定して生産できる新品種が強く求められてきました。そこで、愛知県農業総合試験場は、夏の暑さに強いスプレーギクの新品種を開発に行ってきました。これまで「スプレー愛知夏1号」、「スプレー愛知夏2号」、「スプレー愛知夏3号」を開発してきましたが、今年新たに「スプレー愛知夏4号」を開発し、発表しました。

「スプレー愛知夏4号」は、花卉の色が鮮やかな黄色で、茎が硬く、葉がしっかりとしています。また、夏の暑さによる開花の遅れや生理障害が少なく、7月から9月の高温期にも品質の高い切り花を安定して出荷できます。さらに、これまでより、側枝の数が少なく、栽培管理や収穫がしやすい品種です。今後、出荷を始める予定で、2027年度に年間50万本の出荷を目指しています。

*スプレーギク：茎から小枝がスプレー状に広がって多数の花を咲かせるタイプのキク。花の形や色にバリエーションがあるため、花束、生け花、テーブルフラワーなど様々な用途で利用されている。



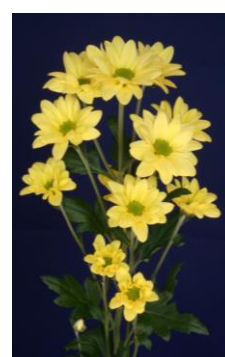
「スプレー愛知夏1号」(黄)



「スプレー愛知夏2号」(ピンク)



「スプレー愛知夏3号」(白)



「スプレー愛知夏4号」(黄)

愛知県気候変動適応計画では、地球温暖化等に対応する農林・水産技術の開発の取り組み指標として2025年度までに、15技術の開発を目指しています。今後もこのような技術の開発が期待されます。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/nogyo-keiei-kiku2023.html>)

スプレー愛知夏4号

検索



環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



適応とは、気候変動の影響に備えること。

愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

